

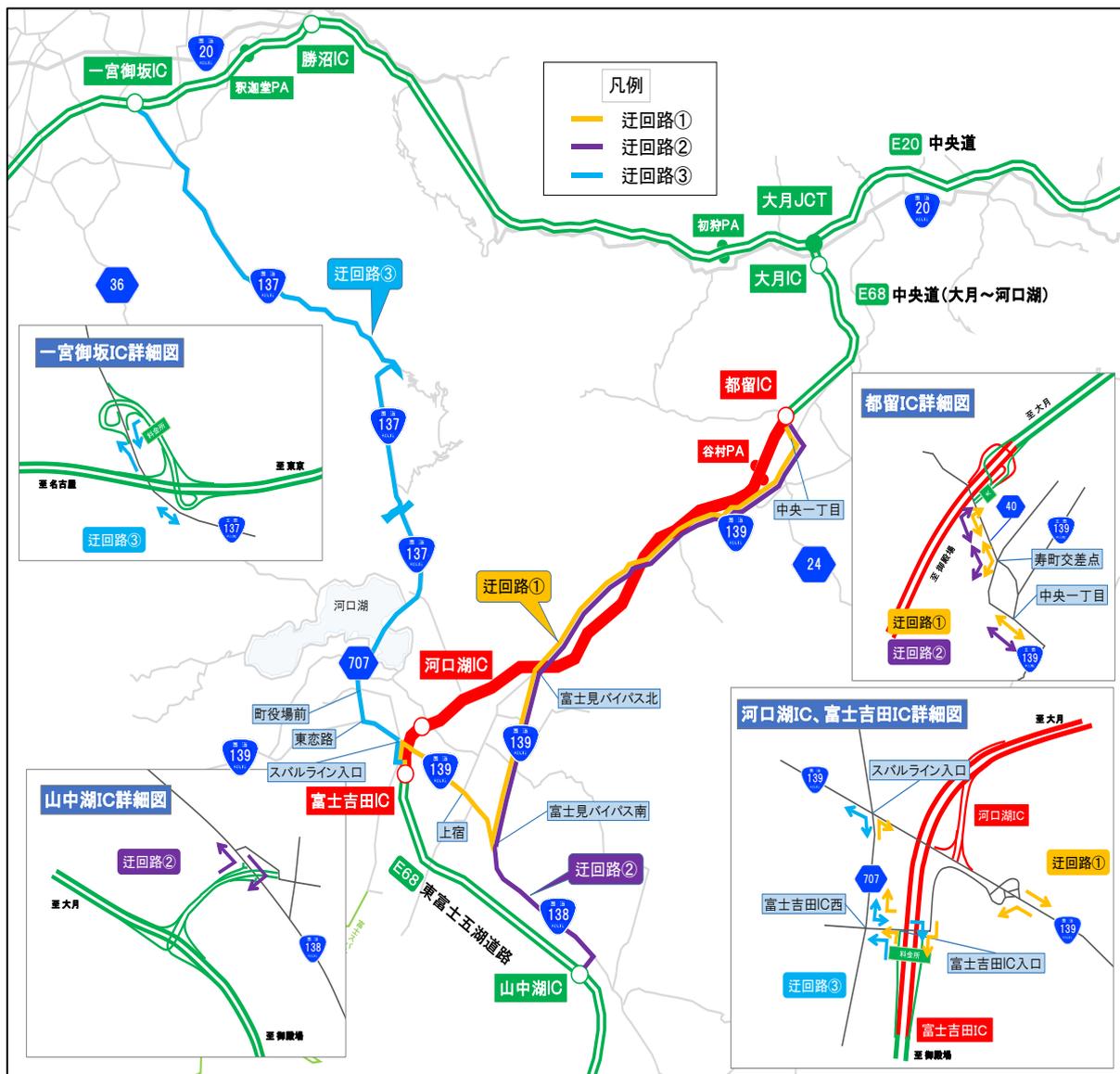
2. 夜間通行止めに伴うう回路のご案内

種別	う回路	所要時間[※] (参考)
う回路① 【富士吉田⇔都留】	富士吉田 IC⇔県道 707 号⇔国道 139 号⇔国道 138 号⇔国道 139 号⇔県道 40 号⇔都留 IC	一般道利用：約 40 分 (高速利用時 約 14 分) ≪増加時間：+26 分≫
う回路② 【山中湖⇔都留】	山中湖 IC⇔国道 138 号⇔国道 139 号⇔県道 40 号⇔都留 IC	一般道利用：約 44 分 (高速利用時 約 22 分) ≪増加時間：+22 分≫

一宮御坂 IC 以西⇔東富士五湖道路方面をご利用されるお客さまは、以下のう回路もございます。

種別	う回路	所要時間[※] (参考)
う回路③ 【富士吉田⇔一宮御坂】	富士吉田 IC⇔県道 707 号⇔国道 139 号⇔県道 707 号⇔国道 137 号⇔一宮御坂 IC	一般道利用：約 53 分 (高速利用時 約 41 分) ≪増加時間：+12 分≫

[※]…高速道路=70 km/h、一般道=30 km/h で算出した場合。

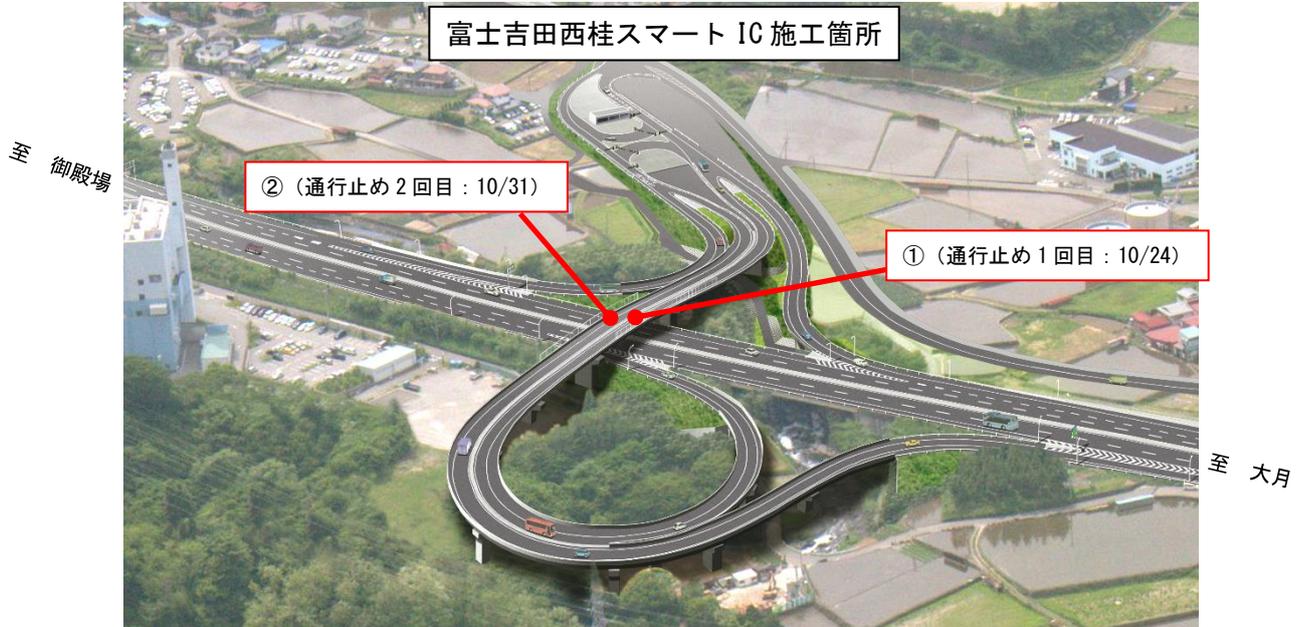


3. 主な工事内容

○ より使いやすい高速道路にするために

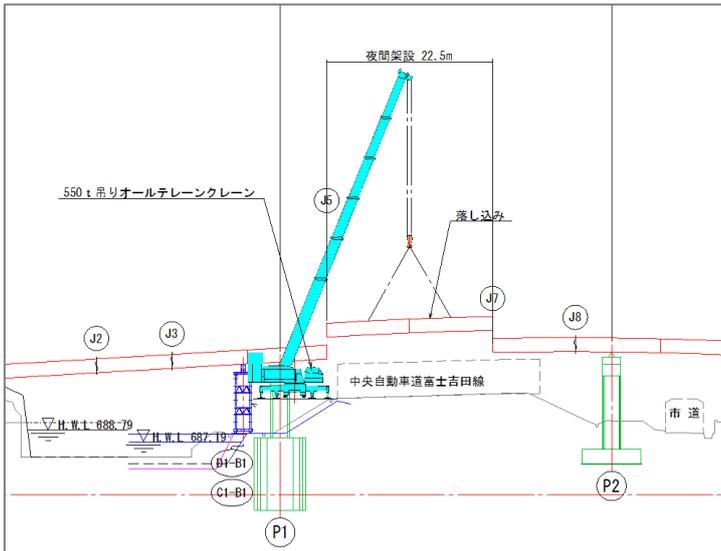
(1) 富士吉田西桂スマート IC 橋梁架設工事

E68 中央道を跨ぐ橋梁 2 橋を、2 夜間にわけて架設をおこないます。①中央道下り線 御殿場方面へ向かうランプ橋および②中央道下り線 大月方面から降りるランプ橋を各 1 夜間で架設します。



【架設方法】

トラッククレーンで E68 中央道を跨ぐランプ橋を一括架設します。



架設概略図



トラッククレーンによる橋桁架設イメージ

○ **お客さまの走行安全性を高めるために**

(2) その他の補修および点検作業の実施

橋梁架設工事の通行止めに合わせて補修および点検作業などを同時に実施することにより、年間の工事規制回数削減をおこないます。約 10 回の規制回数が削減できると見込んでおります。

○ 舗装補修工事

路面の凸凹やひび割れなどを補修します。



○ 中央分離帯縁石取替

損傷した中央分離帯の縁石を取り替えます。



○ 点検作業

道路施設の点検をおこないます。



■ ハイウェイテレホン

リアルタイムの主要高速道路情報（5分更新）を、お電話にて24時間入手できます。

携帯電話から「#8162 [はい、無事(帰る)]」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報が音声で入手できます。

固定電話からは「#8162」をご利用いただけません。固定電話からは、以下のハイウェイテレホンをご利用ください。

中央道・長野道 情報	八王子局	042 (692) 1620
	甲府局	055 (275) 1620
	諏訪局	0266 (57) 1620

また、音声によるハイウェイテレホンと併せて携帯電話のWEBサイトでご確認いただける、「目で見るハイウェイテレホン」もご活用ください。

なお、自動車運転中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用の際はSA・PAをお願いします。

- ・ 関東・甲信越地方の高速道路情報

<http://www.yokohama1620-c-nexco.jp/main/index.shtml>



- ・ 東海・北陸地方の高速道路情報

<http://www.highway-telephone.com/>



(3) 高速道路上で入手できる道路交通情報

- 道路交通情報板
- 本工事専用特設情報板（路肩LED情報板）
- ハイウェイラジオ（1620kHz）
- ハイウェイ情報ターミナル（サービスエリア・パーキングエリアに設置）
- VICS（VICS対応ナビゲーションなどで、道路交通情報が入手できます）

(4) その他

- 道路緊急ダイヤル（#9910）

高速道路をご利用中に「故障車」や「落下物」、「道路の損傷」などを見つけたら、『#9910』道路緊急ダイヤル（通話料無料）にお電話ください。

6. お願い

(1) ゆとりをもった高速道路のご利用を

工事期間中は、う回により通常より所要時間が多くかかるおそれがあります。ゆとりをもった計画を立てていただき、お出かけ前には交通情報を確認のうえ、ご利用いただきますようお願いいたします。

また、天候および作業進捗等により工事期間を変更する場合がありますので、通行止め情報の確認をお願いいたします。

(2) 渋滞末尾での追突事故にご注意を

渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞末尾での追突事故のおそれがあります。渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図するなどして、追突事故の防止にご協力ください。



(3) 全席シートベルトの着用を

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が、衝突の反動で車の外に投げ出されて死亡する場合があります。

運転席と助手席だけではなく、後部座席も含め必ず全席シートベルトの着用をお願いします。(2008年6月1日より道路交通法が改正され、後部座席のシートベルトの着用が義務付けられました。)

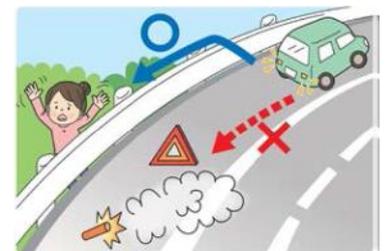


(4) 高速道路上で停止した場合は

事故や故障などにより万が一高速道路上に停止してしまった場合は、ハザードランプを点灯するとともに、発炎筒・停止表示器材を車の後方に無理のない範囲で設置し、後続車へ合図してください。(設置する際は車線から離れ、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所を通って移動してください。)

また、車内や道路に残るのは大変危険ですので、運転者も同乗者も全員、通行車両や足元に十分に注意し、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所へ避難してください。

避難後は、道路緊急ダイヤル（#9910）や110番、非常電話などで通報をお願いします。



(5) 高速道路の逆走にご注意を

行き先や出口間違いをした際のUターンなどにより、高速道路を逆走した車両が関係する重大事故が発生しています。万が一、逆走車両を発見した場合は、料金所やサービスエリア・パーキングエリアなどの安全な場所から、110番通報をお願いします。

また、高速道路をご利用される際には、標識や路面標示を確認し、指定された方向への走行をお願いします。万が一、逆走をしてしまった場合には、周囲を確認したうえでハザードランプを点灯して路肩などに停止し、安全な場所から速やかに110番通報をお願いします。

